

CASBEE-建築(新築)2016年版
クレヴィア長岡天神

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

スコアシート		実施設計段階						
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								3.3
Q1 室内環境					0.40			3.6
1	音環境			4.0	0.15	3.6	1.00	3.6
	1.1 室内騒音レベル	-		3.0	0.50	3.0	0.50	
	1.2 遮音			5.0	0.50	4.2	0.50	
	1 開口部遮音性能	全ての遮具にてT-2を採用		5.0	1.00	5.0	0.30	
	2 界壁遮音性能	-		-	-	3.0	0.30	
	3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	フローリングLL-45		-	-	4.0	0.20	
	4 界床遮音性能(重量衝撃源)	フローリングLL-45		-	-	5.0	0.20	
	1.3 吸音	-		-	-	-	-	
2	温熱環境			2.6	0.35	3.3	1.00	3.2
	2.1 室温制御			3.0	0.50	3.7	0.50	
	1 室温	-		3.0	0.63	3.0	0.63	
	2 外皮性能	専有部:「5-1断熱等性能等級」が等級4を超える水準を満たす		3.0	0.38	5.0	0.38	
	3 ゾーン別制御性	-		-	-	-	-	
	2.2 湿度制御	-		1.0	0.20	3.0	0.20	
	2.3 空調方式	-		3.0	0.30	3.0	0.30	
3	光・視環境			3.0	0.25	4.0	1.00	3.9
	3.1 昼光利用			4.2	0.30	4.6	0.40	
	1 昼光率	共用部:3.07%、専有部:3.27%		5.0	0.60	5.0	0.50	
	2 方位別開口	全方位に窓の計画		-	-	5.0	0.30	
	3 昼光利用設備	-		3.0	0.40	3.0	0.20	
	3.2 グレア対策			2.0	0.30	4.0	0.40	
	1 昼光制御	各住戸にCBおよび庇あり		2.0	1.00	4.0	1.00	
	3.3 照度	-		3.0	0.15	3.0	0.20	
	3.4 照明制御	-		3.0	0.25	-	-	
4	空気質環境			3.6	0.25	3.8	1.00	3.8
	4.1 発生源対策			4.0	0.60	4.0	0.63	
	1 化学汚染物質	F☆☆☆☆の塗材をほぼ全面的に採用		4.0	1.00	4.0	1.00	
	4.2 換気			3.0	0.40	3.6	0.38	
	1 換気量	-		3.0	0.50	3.0	0.33	
	2 自然換気性能	自然換気有効開口面積率0.212%		-	-	5.0	0.33	
	3 取り入れ外気への配慮	-		3.0	0.50	3.0	0.33	
	4.3 運用管理			-	-	-	-	
	1 CO ₂ の監視	-		-	-	-	-	
	2 喫煙の制御	-		-	-	-	-	
Q2 サービス性能					0.30			3.4
1	機能性			3.1	0.40	4.2	1.00	4.0
	1.1 機能性・使いやすさ			3.0	0.40	5.0	0.60	
	1 広さ・収納性	-		-	-	-	-	
	2 高度情報通信設備対応	インターネット環境が整備されている		-	-	5.0	1.00	
	3 バリアフリー計画	-		3.0	1.00	-	-	
	1.2 心理性・快適性			3.0	0.30	3.0	0.40	
	1 広さ感・景観	-		-	-	3.0	0.50	
	2 リフレッシュスペース	-		-	-	-	-	
	3 内装計画	-		3.0	1.00	3.0	0.50	
	1.3 維持管理			3.5	0.30	-	-	
	1 維持管理に配慮した設計	評価する取り組みの合計が7つ		4.0	0.50	-	-	
	2 維持管理用機能の確保	-		3.0	0.50	-	-	
2	耐用性・信頼性			3.1	0.30	-	-	3.1
	2.1 耐震・免震・制震・制振			3.0	0.50	-	-	
	1 耐震性(建物のこわれにくさ)	-		3.0	0.80	-	-	
	2 免震・制震・制振性能	-		3.0	0.20	-	-	
	2.2 部品・部材の耐用年数			3.5	0.30	-	-	
	1 躯体材料の耐用年数	劣化対策 等級3相当		5.0	0.20	-	-	
	2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	-		2.0	0.20	-	-	
	3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	主要な居室の壁・天井にビニルクロスを採用		4.0	0.10	-	-	
	4 空調換気ダクトの更新必要間隔	-		3.0	0.10	-	-	
	5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給排水管にて2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用		5.0	0.20	-	-	
	6 主要設備機器の更新必要間隔	-		2.0	0.20	-	-	
	2.4 信頼性			3.0	0.20	-	-	
	1 空調・換気設備	-		3.0	0.20	-	-	
	2 給排水・衛生設備	-		3.0	0.20	-	-	
	3 電気設備	-		3.0	0.20	-	-	
	4 機械・配管支持方法	-		3.0	0.20	-	-	
	5 通信・情報設備	-		3.0	0.20	-	-	

3	対応性・更新性		3.0	0.30	2.8	1.00	2.8
	3.1 空間のゆとり			-	2.6	0.50	
	1 階高のゆとり	-	-	-	3.0	0.60	
	2 空間の形状・自由さ	-	-	-	2.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり	-	-	-	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性		3.0	1.00		-	
	1 空調配管の更新性	-	3.0	0.20		-	
	2 給排水管の更新性	-	3.0	0.20		-	
	3 電気配線の更新性	-	3.0	0.10		-	
	4 通信配線の更新性	-	3.0	0.10		-	
	5 設備機器の更新性	-	3.0	0.20		-	
	6 バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20		-	
Q3	室外環境(敷地内)			0.30		-	2.8
1	生物環境の保全と創出	-	3.0	0.30		-	3.0
2	まちなみ・景観への配慮	-	3.0	0.40		-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30		-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-	2.0	0.50		-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上	-	3.0	0.50		-	
LR	建築物の環境負荷低減性						3.9
LR1	エネルギー			0.40		-	4.4
1	建物外皮の熱負荷抑制	専有部:「5-1断熱性能等級」が等級4を超える水準を満たす	5.0	0.20		-	5.0
2	自然エネルギー利用	-	2.0	0.10		-	2.0
3	設備システムの高効率化	BEI=0.62、性能基準にて全住戸ZEH Oriented取得	5.0	0.50		-	5.0
4	効率的運用		3.5	0.20		-	3.5
	集合住宅以外の評価			-		-	
	4.1 モニタリング	-	-	-		-	
	4.2 運用管理体制	-	-	-		-	
	集合住宅の評価		3.5	1.00		-	
	4.1 モニタリング	エネファームリモコン	4.0	0.50		-	
	4.2 運用管理体制	-	3.0	0.50		-	
LR2	資源・マテリアル			0.30		-	3.6
1	水資源保護		3.4	0.20		-	3.4
	1.1 節水	節水コマ、節水型便器を採用	4.0	0.40		-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		-	
	1 雨水利用システム導入の有無	-	3.0	0.70		-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.30		-	
2	非再生性資源の使用量削減		3.7	0.60		-	3.7
	2.1 材料使用量の削減	-	2.0	0.11		-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.22		-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22		-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	押出法ポリスチレンフォーム、ビニル床シート、ビニル床タイル	5.0	0.22		-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	-	-	-		-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上及び配管が分かれている	5.0	0.22		-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.7	0.20		-	3.7
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	3.0	0.30		-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		4.0	0.70		-	
	1 消火剤	-	-	-		-	
	2 発泡剤(断熱材等)	吹付硬質ウレタンフォーム ODP:0, GWP:1	5.0	0.50		-	
	3 冷媒	-	3.0	0.50		-	
LR3	敷地外環境			0.30		-	3.5
1	地球温暖化への配慮	LCCO2:61%	4.5	0.33		-	4.5
2	地域環境への配慮		3.1	0.33		-	3.1
	2.1 大気汚染防止	-	3.0	0.25		-	
	2.2 温熱環境悪化の改善	-	3.0	0.50		-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.5	0.25		-	
	1 雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25		-	
	2 汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25		-	
	3 交通負荷抑制	敷地内に十分な駐車スペースの確保	5.0	0.25		-	
	4 廃棄物処理負荷抑制	-	3.0	0.25		-	
3	周辺環境への配慮		3.1	0.33		-	3.1
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
	1 騒音	-	3.0	1.00		-	
	2 振動	-	-	-		-	
	3 悪臭	-	-	-		-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40		-	
	1 風害の抑制	-	3.0	0.70		-	
	2 砂塵の抑制	-	-	-		-	
	3 日照阻害の抑制	-	3.0	0.30		-	
	3.3 光害の抑制		3.7	0.20		-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明を行っていない	4.0	0.70		-	
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30		-	

CASBEE-建築(新築)2016年版

クレヴィア長岡天神

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	2.0	2.0			○	○	-		○	○					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	7.0		○	○	○	-	○	○	-	○	-	○	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	5.0		-	○	-	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-
2.4.1 空調・換気設備	-		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	1.0	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	2.0		○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	7.0		-	-	2.0	-	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0		-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	11.0		-	2.0	2.0	3.0	-	-	-	-	2.0	2.0	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0		○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	7.0		1.0	-	-	-	3.0	-	-	2.0	1.0	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	4.0		1.0	-	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0		1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0		1.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	0.5	窓の日射熱取得率(η)	-
U値(W/m2K)	窓システム 4.0	屋根 2.0	外壁 2.0
住戸部分	窓システムU値 -	外皮UA値 -	η AC -
屋光率	0.0%	η AH -	
自然換気有効開口面積率	0.0%		

3.1.1 屋光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース	8.0㎡ /人	病床	8.0㎡ /床	シングル	15.0㎡ ツイン	22.0㎡
--------	---------	----	---------	------	-----------	-------

1.1.2 高度情報通信設備対応

コンセント容量	0.0 VA/㎡
---------	----------

1.2.1 広さ感・景観

天井高	2.45 m
-----	--------

1.2.2 リフレッシュスペース

リフレッシュスペース	0.5%	レストスペース	2.0%
------------	------	---------	------

2.2.1 躯体材料の耐用年数

想定耐用年数	0 年
--------	-----

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

想定必要間隔	15 年
--------	------

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

想定必要間隔	20 年
--------	------

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

想定必要間隔	0 年
--------	-----

3.1.1 階高のゆとり

階高	2.88 m
----	--------

3.1.2 空間の形状・自由さ

壁長さ比率	56.0%
-------	-------

3.2 荷重のゆとり

床荷重	- N/m2
-----	--------

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

外植緑化指数	42%	遮物緑化指数	0%
--------	-----	--------	----

3.2 敷地内温熱環境の向上

空地率	70%	水平投影面積率	25%	地表面対策面積率	39%	舗装面積率	0%
-----	-----	---------	-----	----------	-----	-------	----

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

BPI/BPI _m	-	断熱等性能等級	等級4を超える 相当
----------------------	---	---------	------------

2 自然エネルギー利用

自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年㎡	採光を満たす教室数	80.0%	採光を満たす住戸数	80.0%
		通風を満たす教室数	80.0%	通風を満たす住戸数	80.0%

3 設備システムの高効率化

BPI/BPI _m	非住宅 -	住宅	-	太陽光	.0kW	太陽熱等	.0kW	蓄電池	.0kW
----------------------	-------	----	---	-----	------	------	------	-----	------

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

雨水利用率	0.0%
-------	------

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

特定調達品目	-	エコマーク商品	-	自治体指定の特品目等	-
--------	---	---------	---	------------	---

2.5 持続可能な森林から産出された木材

使用比率	5.0%
------	------

3.2.1 消火剤

オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)	
---------------	--	--------------	--

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	1
---------------	---	--------------	---

3.2.3 冷媒

オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	8
---------------	---	--------------	---

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	44%	隣棟間隔指標Rw	0.40
地表面対策面積率	68.0%	屋根面対策面積率	#DIV/0!
		外壁面対策面積率	#DIV/0!
見付面積S _b	40,000㎡	卓越風向と直交する最大敷地幅W _s	200 m
		基準高さH _b	450 m
緑地	135㎡	水面	㎡
		保水性対策面	㎡
		高反射対策面	㎡
		再帰性反射対策面	㎡